

# PRESS RELEASE

Asahi アサヒグループ大山崎山荘美術館

〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町銭原5-3 TEL 075-957-2364

The Collection of Marunuma Art Park

## Andrew Wyeth

Reminiscences of the Olson House



丸沼芸術の森所蔵

### アンドリュー・ワイエス展

#### 追憶のオルソン・ハウス

前期:2024年 9月14日(土)–10月27日(日)

後期:2024年10月29日(火)–12月 8日(日)

前期・後期で作品を入れ替えます

Asahi アサヒグループ大山崎山荘美術館

《オルソンの家》1969年「追憶展」丸沼芸術の森蔵 ©2024 Wyeth Foundation for American Art / ARS, New York / JASPAR, Tokyo E5641

《オルソンの家》1969年[通期] © 2024 Wyeth Foundation for American Art / ARS, New York / JASPAR, Tokyo E5641

アサヒグループ大山崎山荘美術館は、2024年9月14日(土)から12月8日(日)を2期に分けて、企画展「丸沼芸術の森所蔵 アンドリュー・ワイエス展 —追憶のオルソン・ハウス」を開催いたします。

アンドリュー・ワイエス(1917-2009)は、アメリカの国民的画家として知られます。ニューヨーク西方のペンシルベニア州に生まれ、生涯の多くの時間を故郷と、アメリカ最北東部のメイン州で過ごし、それらの風景とそこに生きる人々を描きました。とりわけ、《クリスティーナの世界》(1948年)は、20世紀のアメリカ美術を代表する傑作として高く評価されています。

1939年、ワイエスは自身の別荘があるメイン州でクリスティーナ・オルソンと弟アルヴァロに出会います。ふたりと、彼らの住む築約150年の古い屋敷にひかれ、画家は30年にわたり同家を訪れ交流をもちました。この「オルソン・ハウス」を舞台に《クリスティーナの世界》をはじめとする数々の名作が描かれました。

本展では、埼玉県朝霞市にある丸沼芸術の森が所蔵する、《クリスティーナの世界》習作を含むアンドリュー・ワイエスの貴重な水彩・素描コレクション約60点により、ワイエスが見つめつづけたオルソン・ハウスとそこにまつわる記憶をたどります。

#### 【本展に関するお問い合わせ先】

アサヒグループ大山崎山荘美術館 TEL 075-957-2364 FAX 075-957-3126

広報担当 : 太田 道子 担当学芸員 : 川井 遊木、中井 珠生

## 【開催概要】

展覧会名 : 丸沼芸術の森所蔵 アンドリュー・ワイエス展—追憶のオルソン・ハウス

会 期 : 前期 : 2024年9月14日(土)-10月27日(日)

後期 : 2024年10月29日(火)-12月8日(日)

※前期・後期で作品を入れ替えます

休 館 日 : 月曜日(ただし、9月16日・23日、10月14日、11月4日の祝日・休日、

および11月18日・25日、12月2日は開館)、祝日・休日の翌火曜日

開館時間 : 10:00-17:00(最終入館 16:30)

会 場 : アサヒグループ大山崎山荘美術館

〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町銭原5-3

JR山崎駅、または阪急大山崎駅より徒歩約10分

TEL:075-957-3123(総合案内)

<https://www.asahigroup-oyamazaki.com>

主 催 : アサヒグループ大山崎山荘美術館

特別協力 : 丸沼芸術の森

後 援 : 京都府、大山崎町、大山崎町教育委員会、京都新聞、読売新聞京都総局、朝日新聞京都総局、

毎日新聞京都支局、産経新聞社京都総局、NHK京都放送局、エフエム京都

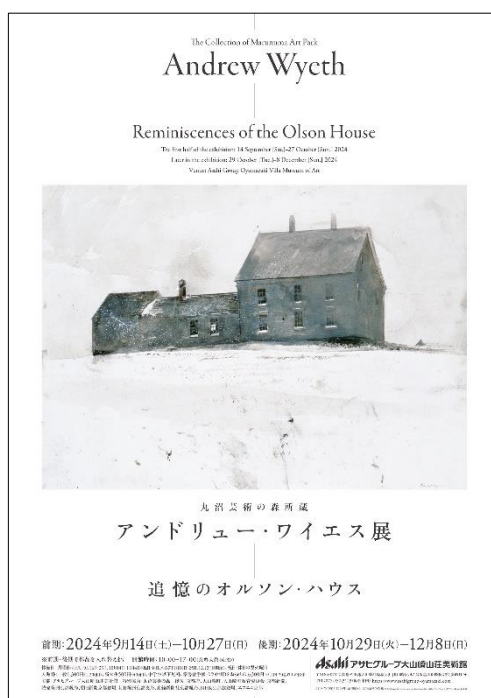
入 館 料 : 一般1,300円(1,200円)、高大生500円(400円)

中学生以下無料、障害者手帳をお持ちの方300円

※( )内は20名以上の団体の場合

作品点数 : 約60点 ※前期・後期合わせて

展覧会URL : <https://www.asahigroup-oyamazaki.com/exhibition/wyeth/>



ポスタービジュアル

## 【会期中のイベント】

イベント名：講演会「アンドリュー・ワイエスとオルソン・ハウス」

日 時：2024年10月5日(土)13:30-15:00

講 師：高橋 秀治氏(豊田市美術館館長)

会 場：大山崎ふるさとセンター

京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字竜光3

※阪急大山崎駅から徒歩1分、JR山崎駅から徒歩3分

※美術館が会場ではありません

内 容：生前のアンドリュー・ワイエスと親交があり、日本におけるワイエス研究の第一人者である高橋秀治氏に、画家の人生と作品、そして画家にとってのオルソン・ハウスについてお話しいただきます。

定 員：50名(要申込、先着順)

参加費：無料

申 込：企画展ウェブページの申込フォームよりお申し込みください。

◎申込フォーム：<https://form.run/@oyamazaki-wyethsevent-1>

※対象は中学生以上

※電話・メールによる受付はいたしません

※定員に達し次第、当館ウェブサイトでお知らせいたします

主 催：アサヒグループ大山崎山荘美術館

イベント名：ギャラリートーク

日 時：2024年11月2日(土) ①11:00-12:00/②14:30-15:30

講 師：中村 音代氏(丸沼芸術の森アンドリュー・ワイエスコレクション担当学芸員)

会 場：当館展示室

定 員：各回10名(要申込、抽選)

参加費：無料(ただし、美術館入館料が別途必要)

申 込：企画展ウェブページの申込フォームよりお申し込みください。

◎申込フォーム：<https://form.run/@oyamazaki-wyethevent-2>

※申込受付期間：2024年10月10日(木)まで

※対象は中学生以上

※当選された方へのみ10月17日(木)前後にご連絡いたします

## 【カフェ企画】

内 容：当館喫茶室で期間限定のオリジナルスイーツメニューを提供いたします。

期 間：展覧会会期中

会 場：当館喫茶室

協 力：リーガロイヤルホテル京都

※スイーツ詳細は当館ウェブサイトで2024年8月中旬頃にご案内予定です

<https://www.asahigroup-oyamazaki.com/exhibition/wyeth/>

## 【広報画像について】

本展の広報画像全6点の詳細は、企画展ウェブページでご紹介していますのでご確認ください。

①②③の広報画像は、著作権上、必要な掲載条件がございます。詳細は下記広報画像・取材申請フォームでご紹介していますので、ご確認ください。

④⑤⑥の広報画像は、別途、著作権者への申請が必要であり、著作権使用料を各社様にご負担いただきますので、予めご了承ください。

申請先：一般社団法人 日本美術著作権協会 <http://jaspar.or.jp>

①



《オルソンの家》1969年 [通期]

②



《クリスティーナの世界》習作  
1948年 [通期]

③



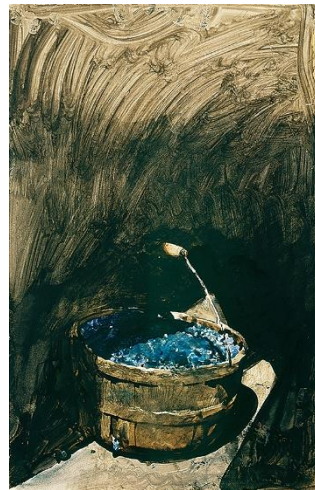
《オルソンの家の秋》1941年 [後期]

④



《オルソン家の納屋の干し草置き場》  
1966年 [前期]

⑤



《パイ用のブルーベリー》習作  
1967年 [通期]

⑥



《納屋のツバメ》（《さらされた場所》  
習作）1965年 [後期]

すべて丸沼芸術の森蔵

© 2024 Wyeth Foundation for American Art / ARS, New York / JASPAR, Tokyo E5641

## 【広報画像使用・取材申請について】

当企画展の画像使用や取材の申請は、当館ウェブサイト「プレスリリース」内の  
広報画像・取材申請フォームからお願いいたします。追って広報担当よりご連絡いたします。

広報画像・取材申請フォーム：<https://form.run/@oyamazaki-wyethpress>

